

一転

今年は“暑さ寒さも彼岸まで”という言葉が否定するかのような異常気象。10月に入っても30℃を越える日が続き「一体いつまでこの暑さが続くのやら」と思っていました。日曜に一転。最高気温が一気に10℃近くも下がり、「この気温激変に体がついていけるのか？」と心配をしているところです。

(真鍋淑郎博士のノーベル物理学賞受賞でも話題になりましたが、やはり地球温暖化が確実に進んでいる気がします。何としてもCO₂の排出量を減らさなければなりませんね・・・)

さて、学校では既に冬服の移行期間に入っていますので、この激変に対応できるよう、各家庭で気温に応じた服装の準備・対応をよろしくお願いします。また、寒くなって気になるのが教室の換気です。暑い時もエアコンをつけた状況で窓を開け、換気の徹底をしたところですが、寒くなるとなかなか換気の徹底ができない状況になります。(寒気でも換気するよう注意喚起しますがなかなか・・・ですね。)また、どの教室なのか、席が教室のどの場所なのかによっても、寒さ・温かさにかかなりの差が出てきますので、そのことも考慮して服装を調節してほしいと思います。ちなみに今回のイラストは“木枯し”です。現在、“木枯し”は冬の季語とされていますが、古くは初秋の季語とされていたそうです。秋の訪れを知らせるかのように、桐の一片などを散らせる風のことを言っていたようです。せっかくですから豆知識をもう一つ。“木枯らし1号”という言葉もあります。これは西高東低の冬型の気圧配置となってその年初めて吹く、北よりのやや強い風(季節風)の事で、東京地方と近畿地方でのみ発表されます。いずれにしても、これから寒さが増すばかり。しっかり寒さ対策、インフルエンザ対策、もちろんコロナ対策を十分に講じ、万全の体調を維持しながら学校生活を楽しんで欲しいと思います。



文化の香り

2学期最大の行事である文化発表会・合唱コンクールを明後日21日に開催します。生徒たちは今、最後の追込みに大童(おおわらわ)です。今年のテーマは「正進」～想い一つに感動を～です。ステージ発表は吹奏楽部の演奏に始まり、全学年意見発表、2年農業体験発表、3年演劇「人形館」と続き、後半は合唱コンクールと見所満載です。

私が担任をしていたときも、「人を感動させるためには、自分たちが感動しなければならない。みんなが心をつにして、完全燃焼してこそ感動が生まれる。みんなで頑張れ!!」と激励をしていました。～想い一つに感動を～とても素敵なサブテーマだと思います。

明後日は体育館いっぱい文化の香りが漂い、感動あふれるステージになると確信しています。また、体育館後方に書写や絵画などの名作や迷作?も多数展示いたします。乞うご期待です。マスクの着用、手指の消毒等、コロナ対策を十分行ったうえで、ご来校の程をよろしくお願いいたします。

